

参議院議員
古賀 千景 殿

立憲民主党
代表 水岡 俊一 殿

抗議および申し入れ

このたびの参議院決算委員会における、自衛隊を志す若者及び自衛官に関する一連の発言について、自由民主党荒川区議団として強く抗議いたします。

報道等によれば、古賀千景参議院議員は、国会の場において「豊かな子どもたちは自衛隊にはならない」「自衛隊に行く子どもたちは経済的に厳しい子どもたち」といった趣旨の発言をされたと承知しております。

自衛官は、国民の生命と財産、そして我が国の平和と安全を守るため、日々厳しい任務に向き合っています。有事や災害時においても、国民のために職務を果たす重責を担う公務員であります。

そのような職務に就く方々を、あたかも「経済的に厳しいから自衛隊に入る」「豊かな家庭の子どもは自衛官にならない」と一括りに語ることは、自衛官本人だけでなく、退職された方々、自衛官を志す若者、そしてそのご家族の誇りと名誉を傷つけるものです。

もちろん、進路や職業を選ぶうえで、生活や待遇を考えること自体は、どの職業においても自然なことです。経済的な事情を抱えながら努力している人がいるとしても、それは決して見下されるべきことではありません。

しかし、今回問題なのは、自衛隊という職業を貧しさと結びつけ、国会という公の場で「自衛隊に行く子ども＝経済的に厳しい子ども」という印象を与える発言をしたことです。

これは、自衛官を志す人たちの使命感、責任感、誇り、そして家庭環境の多様さをあまりにも軽視した、極めて一面的な発言であると考えます。

荒川区にも、自衛官、自衛隊関係者、そのご家族、そして将来自衛官を志す若者が生活しています。今回の発言が、自衛官やその家族に対する偏見や差別につながることはあってはなりません。

特に、親が自衛官である子どもたちが、学校や地域で心ない言葉を向けられるようなことは、絶対に避けなければなりません。

自衛官という職業は、単に家庭の経済状況だけで語られるものではありません。そこには、国を守るという意思、覚悟、責任、そして誇りがあります。

発言を撤回し謝罪されたこと、また立憲民主党として古賀議員に厳重注意処分を行い、党代表として謝罪されたことは承知しております。

しかしながら、国会の場で全国に向けて発せられた言葉は重く、撤回と謝罪、党内処分のみで、自衛官やそのご家族の名誉が回復されたとは言えません。

自由民主党荒川区議団として、今回の発言が自衛官及びその家族に対する偏見を助長しかねないものであったことを重く受け止め、なぜそのような認識に至ったのかを丁寧に説明するとともに、自衛官とそのご家族の名誉回復に向けた誠意ある対応を求めます。

また、立憲民主党におかれましても、公党として今回の発言を重く受け止め、自衛官に対する偏見や差別の解消に努めるとともに、今後同様の発言が繰り返されることのないよう、正確な理解と敬意に基づいた対応を求めます。

国民を守る仕事に就く方々を、根拠なく一面的に語り、その誇りを傷つける社会であってはなりません。

自衛官とそのご家族、そして将来自衛官を志す若者が、胸を張って歩める社会であるために、責任ある説明と誠実な対応を強く求めます。

以上

令和8年6月 日

自由民主党荒川区議会議員団